



ゆり地域支援だより

令和6年12月11日発行 第3号 秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

～中学部（校内実習）・高等部（現場実習）の学習の様子～

中学部作業学習パワーアップ週間

10月28日から8日間の日程で中学部Ⅱ期作業学習パワーアップ週間がありました。

期間中は学級を離れてそれぞれの作業班で過ごし、将来働くための力や仲間と協力し合う力を身に付けます。

朝の全体会では「作業学習5箇条」を全員で唱和し、一人一人が意識して作業に臨むことができました。

報告会では各班のがんばりが発表され、仕上がった製品を見てそれぞれが達成感に満ちた表情を見せていました。

中学部作業学習五箇条

- 1 あいさつ・返事・丁寧な言葉遣いをする
- 2 身だしなみを整える
- 3 時間を守る
- 4 集中して最後まで仕事をする
- 5 素直な態度



手芸班
エコバッグ製作



木工班
おともだちの家製作



陶芸班
小皿製作



農園芸班
フワフワアレンジメント製作

高等部2年 Ⅱ期 現場実習 11月11日～11月22日

高等部の現場実習は、卒業後社会人として自分が目指す姿や働くために必要な力について実践を通して考えたり、身に付けたりできるように、たくさんの企業や事業所からの協力を得て行っています。高等部2年生のⅡ期現場実習では、6月のⅠ期実習の成果や課題を踏まえて、一人一人が働く姿をイメージしながら具体的な目標をもって取り組みました。

実習先の温かな雰囲気と励ましを受け、働く喜びや大変さを実感しながら過ごした10日間。連日働き続けるために、平日や土日の過ごし方などリフレッシュや体調管理が大切だと感じた生徒もいました。また、普段の生活で実践できていることは実習でも自然にできますが、できていないことは実習先から課題として伝えられることが多いようです。ある事業所の方が、実習生に「挨拶の大切さ」を具体的に教えてくださいました。学校と違う場所でも同じことを指摘していただいたことで、生徒は自分自身を振り返り、学校に戻ってから自分から相手に伝わるような挨拶を心掛けるようになりました。

現場実習は、実習先の方から生徒の頑張りを成果として認めていただき、同時に課題についても具体的に評価をしていただく貴重な機会となっています。生徒一人一人の「働くために必要な力」を身に付けられるように、実習先からの客観的な評価、成果と課題を今後の学校や寄宿舎、家庭生活でどのように生かしていくのが重要です。



「発達につまずきのある子どもたちとの豊かな関係の築き方」(本校 夏季研修会より)
杉並区立済美養護学校主任教諭・立教大学兼任講師 **川上 康則 氏**
(公認心理師/臨床発達心理士/特別支援教育士SV)

夏季研修会では、私たち大人に対して普段の生活で心掛けたいことや励ましの言葉をたくさんいただきました。目の前の子どもたちとの豊かな関係を築くために、日々大事にしたいことを紹介します。

その1 **笑顔は「無言の承認」機嫌は「主体性への架け橋」この状況を作り出して
安心感で子どもたちを迎えよう**

子どもたちにとって一番のご褒美は**笑顔と機嫌の良さ**をキープできる大人がいつもそこにいることである。

その2 **まず、学校に漂う「こうあるべきの呪縛」の存在に気づこう
※子どもたちにも教師にも「息苦しさ」をもたらしている**

学校教育目標に示される「子ども像」には**人間が自然に持ち合わせるネガティブな側面を許さない傾向**が備わっている。実際にそこを求められると苦しく馴染めない子どももいる。

その3 **うまくいかないときは子ども（相手）を変えるやり方（スキル・テクニック）
を求めるのではなく、自分自身の考え方やあり方（スタイル）を見直そう**

脅しや追い詰め、他事との比較等、**子どもを傷付ける関わりは効果がない**。大人が言うてしまうのは、自身の不安や焦り、苦しさを早く手放したい、悪しき習慣になっているから。大人も傷付いている。大人が自分自身のことから考え方やあり方を見直すことが必要である。

その4 **「横から」の指導で、子どもの立つ瀬を考えよう**

子どもが怒り、暴れる等の負の情動があらわれた時は追い詰められたときなので、上からの指導ではなく、一緒に解決したり、支えたりして、子どもが安心できる伴走者になろう。

その5 **「当事者視点」を大切にしよう Nothing about us without us.**

子どもたちはものごとの理解がゆっくりである。私たちにとって当たり前のことでも、**「言葉だけの指示や説明」、「自分で考えて行動すること」に難しさが生じやすい**。

その6 **安心して「わからない」と言える教室にしよう**

その7 **学校は子どもたちに「大人の温かさ」と「未来への希望」をもたらすところだ**

特別支援教育研修会

※オンデマンド配信は
1月17日(金)～
2月3日(金)を
予定しております。

○日時：令和7年1月10日(金) 10:00～12:00

○場所：秋田県立ゆり支援学校 体育館 ※上履きをご持参ください。

○演題：「行動で問題をあらわす人をどう理解し関わるか

～教育の中で出来ることを考える」

○講師：秋田県立医療療育センター発達障害者支援部 部長 荒川 祐介 氏

○日程：9:30～ 受付

10:00～10:10 開会行事

10:10～11:40 講話

11:40～11:50 質疑応答

11:50～12:00 閉会行事

◎申し込みの締め切りは12月16日です。
Google フォームかお電話でお申し込み
ください。たくさんの御参加をお待ち
しております。



先生方のお悩みや疑問にお答えします。ご連絡、お待ちしております。

秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

TEL：0184-27-2631 E-mail:yuri-s@akita-pref.ed.jp

